

平成26年度 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会 事業報告書

(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

平成26年度は、下記の重点事業に沿って、関係機関や団体と密接に連携・協働しながら、各種事業に取り組みました。

平成21年度から開始し、全国でも高い評価を得た大田原市の安心生活創造事業におきましては、黒羽・佐久山・紫塚地区の取り組みを基に、平成24年度に親園・大田原西部地区、平成25年度には大田原東部・湯津上・須賀川地区、そして平成26年度には両郷・川西・金田・野崎地区で活動の組織が立ち上がり、市内12のすべての地区で見守り組織活動ができることになりました。

「地区社会福祉協議会」は市内12地区にあり、地域住民が主体となり地区内の地域福祉を進めています。自治会ごとに委嘱している「福祉委員」による活動と合わせて、安心生活創造事業による見守り活動と一体となって取り組めるように、情報提供や研修会を行いました。

また、平成25年度に策定しました「第二次大田原市地域福祉計画・大田原市地域福祉活動計画」により、市や社協の連携を更に深め、住民主体の地域福祉活動を地区社会福祉協議会やボランティア団体をはじめ、関係機関・団体との幅広い取り組みとして展開することができました。

東日本大震災時の災害時ボランティア支援経験を生かし「災害にも強い地域づくり事業」平常時から災害時への対応を見据えたネットワーク活動の強化に努めました。

また国際医療福祉大学や関係機関・団体と連携したボランティア振興のための講座の企画・開催などに取り組みました。

このほかに高齢者や障害者、その家族など、介護や生活支援を必要とする方へのサービスとして、介護保険による居宅介護支援事業・訪問介護事業、障害福祉サービス事業、日常生活自立支援事業（あすてらすおおたわら）などを実施しました。

＝平成26年度重点事業＝

- (1) 安心生活創造事業（見守り活動）
- (2) 災害にも強い地域づくり事業
- (3) 福祉教育推進事業
- (4) 障害者児相談支援事業

目 次

1 事業実施状況

(1) 福祉を支える人づくり

- ① 理事会・評議員会の開催 3
- ② 会員加入の推進 6
- ③ 福祉委員活動の推進 6
- ④ ボランティアセンター事業の推進 7
 - ア ボランティア講座の開講
 - (1)ふくし茶話会&ボランティアカフェ 7
 - (2)災害ボランティア講座 8
 - (3)中高生が考える福祉のまちづくり in 大田原 8
 - イ 市ボランティア連絡協議会との連携・協力 9
 - ウ～オ ボランティア保険・登録・機材貸与 9
- ⑤ 福祉教育の推進
 - ア 福祉冊子「ともに生きる」の発行 10
 - イ 学校等への福祉教育の支援 10
 - ウ学童・生徒のボランティア活動普及事業（“小地域で考える”福祉教育推進モデル事業 10
- ⑥ 広報事業の推進 12
- ⑦ 社会福祉士養成課程実習生の受入れ 13

(2) 福祉を支える地域づくり

- ① 地区社会福祉協議会活動への支援 13
- ② 地区社協連絡会議の開催 14
- ③ 食事サービス事業への支援 14
- ④ 心配ごと相談事業の実施 14
- ⑤ 地域福祉活動計画の推進 15
- ⑥ 市福祉センターの管理運営 15

(3) 生きがいのある地域づくり

- ① 安心生活創造事業の推進 16
 - ア 各地区の状況 16
 - イ 安心生活創造事業関連の視察受け入れ 22
 - ウ 安心生活創造事業会議等 23
- ② 災害にも強い地域づくり事業の推進
 - ア 災害ボランティアセンター運営連絡会の開催 23
- ③ 地域福祉啓発イベントの支援 24
 - ア 「第26回与一の里大田原市産業文化祭」等への参加 24
 - イ ぼくらのまちのウォークラリーの開催支援 24
- ④ 生きがい講座の開催 24
- ⑤ 歳末見舞金の配付 24

(4) 健康に生活するための環境づくり

- ① ねたきり高齢者等紙おむつ等給付事業の推進 24
- ② 高齢者等外出支援事業の推進 25
- ③ 友愛訪問活動への支援 25
- ④ 日常生活用具貸与事業の推進 25
- ⑤ 低所得者対策等の推進 25
 - ア 生活福祉資金 25
 - イ 福祉金庫 26
- ⑥ 日常生活自立支援事業（愛称：あすてらす）の推進 26
- ⑦ 居宅介護支援事業・訪問介護事業の推進 27
 - ア 介護保険法による在宅サービス事業所としての事業 27
 - イ 介護予防支援事業の業務受託 27

⑧ 計画相談支援事業・障害福祉サービスの推進	28
⑨ 受託訪問介護事業の推進	28
⑩ 福祉サービス苦情解決に関する第三者委員会の設置	28
(5) 財産基盤の確立	
① 共同募金事業への協力推進	28
② 善意銀行の運営推進	29
⑥ 地域福祉資金の造成推進	30
2 その他の事項	
表彰等	31

1. 事業実施状況

(1) 福祉を支える人づくり

①理事会・評議員会の開催

・理事会

○第1回理事会	平成26年5月26日	午後3時30分～	市福祉センター
=報告=			
報告第1号	会長の専決処分事項の報告について（平成25年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会一般会計補正予算（第2号）について）		
報告第2号	会長の専決処分事項の報告について（平成25年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会公益事業特別会計補正予算（第1号）について）		
=議案=			
議案第1号	平成25年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業報告の認定について		
議案第2号	平成25年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会一般会計収支決算の認定について		
議案第3号	平成25年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会公益事業特別会計収支決算の認定について		
=会計監査報告=			
議案第4号	社会福祉法人大田原市社会福祉協議会評議員の選任について		
○第2回理事会	平成26年12月22日	午後3時30分～	市福祉センター
=議案=			
議案第5号	平成26年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会一般会計補正予算（第1号）について		

- 議案第 6号 平成26年度善意銀行払い出しの配分について
- 議案第 7号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会評議員の選任について
- 議案第 8号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会経理規程の全部を改正する規程の制定について
- 議案第 9号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会日常生活用具貸与事業実施要綱の全部を改正する要綱の制定について
- 議案第10号 社会福祉法人大田原市社会福祉法人大田原市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規程の制定について
- 議案第11号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会就業規程の一部を改正する規程の制定について
- 議案第12号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会臨時職員任用等に関する要綱の一部を改正する要綱の制定について
- 議案第13号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会職員研修規程の制定について
- 議案第14号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会リフト付き自動車貸出要綱の制定について

○第3回理事会 平成27年3月20日 午後3時30分～ 市福祉センター

=議案=

- 議案第15号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款施行規則の一部を改正する細則の制定について
- 議案第16号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事務決裁規程の一部を改正する規程の制定について
- 議案第17号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会嘱託職員の勤務条件等に関する規程の一部を改正する規程の制定について
- 議案第18号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会情報公開規程の制定につ

いて

議案第19号 平成27年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業計画
(案)について

議案第20号 平成27年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支予算
(案) について

・評議員会

○第1回評議員会 平成26年5月29日 午後1時30分～ 市福祉センター

=報告=

報告第 1号 会長の専決処分事項の報告について(平成25年度社会福祉法
人大田原市社会福祉協議会一般会計補正予算(第2号)につい
て)

報告第 2号 会長の専決処分事項の報告について(平成25年度社会福祉法
人大田原市社会福祉協議会公益事業特別会計補正予算(第1
号) について)

=議案=

議案第 1号 平成25年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業報
告の承認について

議案第 2号 平成25年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会一般会
計収支決算の承認について

議案第 3号 平成25年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会公益事
業特別会計収支決算の承認について

=会計監査報告=

議案第 4号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会役員を選任について

○第2回評議員会 平成26年10月16日午後4時30分～ 市福祉センター

=議案=

議案第 5号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会役員を選任について

○第3回評議員会 平成26年12月25日 午後1時30分～市福祉センター
 =議案=

- 議案第 6号 平成26年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会一般会計補正予算（第1号）について
- 議案第 7号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会経理規程の全部を改正する規程の制定について
- 議案第 8号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会日常生活用具貸与事業実施要綱の全部を改正する要綱の制定について
- 議案第 9号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規程の制定について
- 議案第10号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会就業規程の一部を改正する規程の制定について
- 議案第11号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会臨時職員任用等に関する要綱の一部を改正する要綱の制定について
- 議案第12号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会職員研修規程の制定について
- 議案第13号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会リフト付き自動車貸出要綱の制定について

② 会員加入の推進

社会福祉への理解と協力を求め、普通会员、特別会員、賛助会員の加入促進に努めた。

〔会員加入の状況〕

	会 費	会 員 数	納入会費金額	金額前年比
普通会员	500円	16,612 世帯	8,306,450円	100.0%
特別会員	1,000円	795 事業所	1,025,000円	102.7%
賛助会員	5,000円	30 施設	150,000円	100.0%
計			9,481,450円	100.3%

③ 福祉委員活動の推進

福祉委員は、各自治会長の推薦により172名が活動を行った。小地域福祉ネットワーク活動の推進役として、福祉委員は見守り対象者を把握し、隣近所やボランティアなどの協力を得ながら、一人暮らし高齢者等に対する見守り活動を行った。

ア. 福祉委員活動に関するアンケートの実施（2月）

イ. 見守りネット通信の発行（10月・3月）

ウ. 民生委員児童委員・福祉委員連絡協議会の開催

地域の見守り活動の推進役である福祉委員の理解促進を図るとともに、身近な相談役である民生委員児童委員とのつながりを目的に開催した。

No.	地 区	月 日	場 所
1	湯津上地区	5月28日（水）	市湯津上庁舎
2	佐久山地区	7月16日（水）	市福祉センター
3	黒羽地区	7月18日（金）	黒羽川西地区公民館
4	大田原東部地区	7月28日（月）	東地区公民館
5	金田地区	8月8日（金）	金田北地区公民館
6	大田原西部地区	8月19日（火）	市福祉センター
7	野崎地区	8月20日（水）	野崎研修センター

④ ボランティアセンター事業の推進

ア. ボランティア講座の開講

(1)ふくし茶話会&ボランティアカフェ

学生と地域の方が活動をとおしてかかわりを深めること、学生は地域に目を向け、地域の方と接することで視野を広げること、地域では、主に熟年世代の方がボランティア活動を始めるきっかけづくりとすることをねらいに、国際医療福祉大学IUHWボランティアセンターと合同で開催した。

平成26年度は、ボランティアの当事者10名の方(学生6名・地域の方4名)をボランティアスタッフとして事務局と一緒に企画・実施した。(スタッフ会議：9回開催)当日は、10名のボランティアスタッフが役割をもち、進行やファシリテーションを行った。

	1日目「できること」を見つけよう	2日目「できること」を考えよう
日 時	11月22日（土） 午前9時30分～午後3時30分	12月7日（日） 午前10時～午後3時40分
場 所	大田原市福祉センター	大田原市生涯学習センター
参加者	31名 参加者21名（学生14名・地域12名） ボランティアスタッフ10名	40名 参加者30名（学生22名・地域8名） ボランティアスタッフ10名

	(学生6名・地域4名)	(学生6名・地域4名)
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで芋煮を作ろう ・講和「ボランティアってなんだろう」 ・身近な活動をしている人のお話を聴こう（ゲスト） ・「自分にできること」を考えよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・「できること」計画づくり ・計画の発表 ・「いってみつけ」で、お茶会&交流会
ゲスト ・ 協力者	<ul style="list-style-type: none"> ・藤田三夫さん（神明町自治会・フードバンク・世代間交流喫茶「いってみつけ」） ・生田目淳一さん（紫塚見守り隊） ・今井貴之さん（黒羽盛り上げ隊） ・星 眞由美さん（湯津上地区社会福祉協議会） ・鏑木哉文さん（大田原地域自立支援協議会当事者部会） ・大田原西部地区社会福祉協議会食事サービスボランティア 	世代間交流喫茶「いってみつけ」

(2)災害ボランティア講座

災害発生時には、行政、社協、ボランティア団体等が協働で取り組むことが必要であり、災害発生時に協力し合えるつながりづくり、また、災害ボランティアコーディネーター・災害現場コーディネーターを育成することをねらいに那須野ヶ原青年会議所と合同で実施した。

- ・日 時：7月27日（日） 午後1時30分～午後4時30分
- ・場 所：大田原市勤労者総合福祉センター
- ・参加者：63名（一般参加者45名、本会職員18名）
- ・内 容：
 - ① 講演「東日本大震災ボランティアセンター運営の経験から」
講師 大船渡市社会福祉協議会 伊藤勉氏
 - ② 講演「災害現場コーディネーターの必要性と役割」
講師 風組関東代表 小林直樹氏
- ・社協職員の参加：災害発生時において、市民の生活を支えるために社協職員がかかわるといふ共通の認識をもち、日頃から業務の中で災害に備えるため、職員も講座を受講した。

(3)中高校生が考える福祉のまちづくりin大田原

地元地域の方と活動し、自分たちの地域の強み、弱みを知り、地域の福祉課題を解決していくために何ができるのかを考え、豊かな想像力（創造力）を養うことで、今後のまちづくりの中心を担っていく中高生の育成を目的とする。

- ・日 時：8月19日（火） 午前10時～午後3時30分
- ・場 所：黒羽川西地区公民館
- ・参加者：39名
- ・テーマ：自分の地域ってどんなところ？

「よりよい地域を考える」

- 講話「傾聴～聴くってどんなこと？～」
- 炊き出し訓練
- 講話「ふるさとの今・昔」
- ワールドカフェ

イ. 市ボランティア連絡協議会との連携・協力

市ボランティア連絡協議会が実施する各種福祉活動（与一まつりしあわせ広場、手作り弁当の配布等）への連携・協力を行った。

ウ. ボランティア保険の加入促進

種 別	年間保険料	死亡保険金額	加入者数	前年度加入数
Aプラン	300円	1,200万円	2,591人	2,403人
Bプラン	450円	1,800万円	419人	382人
天災タイプA	460円	1,200万円	59人	94人
天災タイプB	690円	1,800万円	66人	75人
計			3,135人	2,954人

エ. ボランティア登録の推進

ボランティア情報紙「だいすき」での情報の提供、県等から送付されるボランティア情報の提供、各福祉施設のボランティア要請情報の提供等を行った。ボランティアに関する相談に応じ、ボランティア活動をして欲しい人とボランティアしたい人の橋渡し（ボランティアコーディネート）を行った。

区 分	団体数	登録者数	ボランティア相談	ボランティアコーディネート
平成26年度	140団体	4,569名	73件	24件

オ. ボランティア活動機材の貸与

点字プリンター、点字盤、アイマスク、車いす等を貸与し、ボランティア団体や、小・中学校の「総合的な学習の時間」を活用した福祉教育の支援に努めた。

品 目	延べ利用件数	品 目	延べ利用件数
車いす	123 回	カセットテープレコーダー	0 回
アイマスク	46 回	移動式スクリーン	0 回
点字盤	99 回	ビデオ・DVD	5 回
点字プリンター	0 回	書籍等	5 回
高齢者擬似体験用具	73 回	その他	225 回

⑤ 福祉教育の推進

ア. 福祉教育副読本「ともに生きる」の発行

平成24年度に第5回改訂を行った福祉教育副読本「ともに生きる」を、市内の小学校1年生（810部）、4年生（810部）、及び中学1年生（910部）を対象に配布し、義務教育年代における福祉教育の振興に努めた。

イ. 学校等の福祉教育への支援

小・中学校等の学校教育の現場へ、障がい当事者や、福祉教育支援ボランティア「ささえ」を中心とする地域のボランティアとともに社協職員が出向き、児童・生徒に対する福祉教育を支援した。

福祉とは「**ふ**だんの**く**らしの**し**あわせのためのもの」であり、自分やまわりの人にも関係するものであることを児童・生徒に伝えた。

そして、学校からの相談に応じ、講師との調整や資料提供などコーディネートを行った。その際には、子どもたち自身が地域でつながりをもって暮らしていけるよう、地域で「共に生きる力」をつけることを目的に、地域に暮らす障がい当事者や地域福祉活動をしている方と、児童・生徒をつなぐ働きかけを行った。他に児童・生徒の相談に応じた。

ウ. 学童・生徒のボランティア活動普及事業（“小地域で考える”福祉教育推進モデル事業）

「福祉教育事業」を他の地域福祉事業と連携し、地域の力をより効率良く実施し、地域住民と子どもたちの協働の「学びのための企画（仕掛け）づくり」を推進し、福祉教育の基盤を強化するため、本年度は、各校への福祉教育支援や社協職員への研修をはじめ、福祉教育研修会など、学校と地域が共に学び育むための基礎的な共通理解を得た。

○学校等への福祉教育支援状況一覧

実施日	学校等	対象	参加者数	内 容

1	6月5日	金田北中	1年生	81人	福祉の話、高齢者疑似体験、手先の体験、車いす
2	6月9日	両郷中央小	4年生	13人	福祉の話、高齢者疑似体験
3	6月13日	薄葉小	6年生 保護者	100人	福祉の話、高齢者疑似体験、アイマスク、車いす
4	6月19日	佐久山小 福原小	4年生	11人	福祉の話、車いす、高齢者疑似体験、佐久山おもいやり隊の話
5	6月19日	奥沢小	5年生	18人	福祉の話、車いす、高齢者疑似体験
6	6月20日	親園中	3年生	35人	福祉の話、車いす、高齢者疑似体験、ちかその思いやり隊の話
7	7月1日	川西小	4年生	35人	福祉の話、車いす、高齢者疑似体験
8	7月4日	佐良土小	3年生	14人	車いす
9	7月8日	佐良土小	4年生	12人	車いす（校外）
10	7月8日	市野沢小	4年生	58人	福祉の話、車いす、高齢者疑似体験
11	7月11日	佐良土小	1年生	10人	アイマスク
12	7月14日	佐良土小	2年生	9人	手話体験
13	9月4日	親園小	4年生	23人	福祉の話、障がい当事者の話と交流（4名）
14	9月8日	福原小	4年生	2人	ワークショップ、車いす体験
15	9月9・10日	西原小	4年生	165人	福祉の話、高齢者疑似体験、年をとることワークショップ
16	9月19日	福原小	4年生	2人	車いす利用者の話と交流
17	9月22日	湯津上小	4年生	13人	高齢者疑似体験、アイマスク
18	9月26日	佐良土小	5年生	13人	高齢者疑似体験
19	10月3日	佐良土小	6年生	7人	介護体験
20	11月5日	西原小	4年生	165人	点字体験
21	11月6日	石上小	4年生	19人	車いす利用者の話と交流、車いす体験
22	11月7日	市野沢小	1～4年生	220人	目の見えない方の話
23	11月7日	市野沢小	4～6年生	173人	ろう者の話
24	11月11日	福原小	6年生	9人	障がいのある人を理解しようとするこ と
25	11月13日	薄葉小	4年生	44人	手話体験、ろう者との交流
26	11月13日	蛭田小	4年生	15人	アイマスク、高齢者疑似体験
27	11月19日	金丸小	5年生	17人	福祉の話、アイマスク、車いす体験、車いす利用者、見えない方の話と交流
28	11月25日	親園小	5年生	28人	福祉の話、高齢者疑似体験、ちかその思いやり隊の話

29	11月27日	大田原小	5年生	92人	福祉の話、高齢者疑似体験、手先の体験、車いす
30	12月8日	薄葉小	4年生	36人	点字体験、見えない方との交流
31	12月9日	金田南中	3年生	36人	福祉の話、障がい当事者の話と交流(6名)
32	12月10日	両郷中央小	1年生	16人	見えない方の話と交流、アイマスク体験
33	12月16日	西原小	4年生	165人	車いす利用者の話
34	12月18日	西原小	4年生	165人	見えない方の話
35	1月15日	両郷中央小	5年生	13人	見えない方の話と交流、点字
				1,834人	

ウ. おおたわらふくし共育研修会の開催

子どもたち自身が、自分が暮らす地域の中でつながりがもてるように、「地域とともに生きる力」を育むことで求められている。本物の地域福祉課から学ぶ福祉教育を進めるため、地域全体で福祉教育（ふくし共育）を推進する体制をつくっていくことをねらいに実施した。

- ・日 時：2月5日(木) 午後1時50分～4時30分
- ・場 所：金田北地区公民館
- ・参加者：98名（学校関係者・地域福祉活動実践者等74名、本会職員24名）
- ・内 容：
 - ①講話 「子どもたちの未来、地域の未来のために、福祉教育をどう変える？」
講師 大石 剛 史 氏（国際医療福祉大学 准教授）
 - ②ワールドカフェ 「地域活動と子どもの学びをつなげよう！」
地域活動と子どもの学びをつなげるために、それぞれが「できること」、
やってみたいことを考え、情報交換をした。

⑥ 広報事業の推進

ア. 機関紙「おおたわら社協だより」等の広報活動の推進

機関紙「おおたわら社協だより」の裏面から2ページ分をボランティア情報紙「だいすき」として合わせて発行し、各種事業の周知、理事会・評議員会の動き、ボランティアの紹介や社協の仕事内容紹介、及び市民のみなさんに考えていただく地域の課題等を入れて、紙面の充実に努めた。（年6回市内全戸配布）

また「おおたわらこども社協だより」を発行し、子どもの頃から地域福祉に親しみもてるよう、また、地域のつながりを考えられるような紙面を作成し、児童・生徒に配布した。（年2回市内小中学校に配布）

⑦ 社会福祉士養成課程実習生の受入れ

福祉に携わる人材の育成をねらいに、7月30日～9月2日の23日間、社

会福祉士養成課程の実習生4名を受け入れた。開かれた社会福祉協議会として実習生を適切に受け入れることが社会福祉協議会の評価や、職員の資質の向上にもつながる。

(2) 福祉を支える地域づくり

① 地区社会福祉協議会活動への支援

地区社会福祉協議会が実施する事業活動について、支援を行うとともに、加入普通会员一人あたり250円の活動助成金を交付した。

各地区社会福祉協議会の主な事業活動は、次のとおりであった。

地区社協名	助成金	主な事業活動
大田原東部地区社協	523,000円	ふれあい広場、食事サービス(月1回) 「東部社協だより」の発行等
大田原西部地区社協	663,750円	あったか広場、食事サービス(月4回) 「あったかだより」の発行等
紫塚地区社協	317,500円	ふれあい紫広場、食事サービス(月3回) 「むらさきづか社協だより」の発行等
金田地区社協	716,500円	食事サービス(月2回)、研修会等
親園地区社協	199,850円	食事サービス(月2回)、「親園福祉だより」の発行等
野崎地区社協	441,375円	ふくしのまち野崎文化祭、食事サービス (月4回)、「ふくしのまち野崎」の発行等
佐久山地区社協	169,500円	食事サービス(月2回)、「佐久山ふくしだより」 発行等
湯津上地区社協	254,000円	友愛訪問食事サービス(月1回)、世代間交流事業 (縄よじり・豊年棒づくり)、地区社協だより「ゆ うあい」の発行(2回)、ふれあいゆうあい広場
黒羽地区社協	262,000円	友愛訪問食事サービス(月1回)、ひとり暮らし高齢 者会食、「黒羽地区社協だより」の発行等
川西地区社協	331,500円	友愛訪問食事サービス(年6回)、ひとり暮らし高齢 者会食会、「川西地区社協だより」の発行、ふれあ い敬老会支援
両郷地区社協	136,250円	学校安全パトロール、見守り連絡体制づくり、友 愛訪問食事サービス(年10回)、地区社協だより発 行、ふれあい敬老会支援
須賀川地区社協	137,750円	友愛訪問食事サービス(年6回)、ひとり暮らし高齢 者会食会、ふれあい敬老会支援
計	4,152,975円	

② 地区社協連絡会議の開催

地区社協の食事サービスのねらいや各地区の取り組みをふりかえり、地区社協の充実を図ることを目的に開催した。

- ・日 時：1月23日（金）午後1時30分～午後3時30分
- ・場 所：市福祉センター
- ・参加者：地区社協関係者46人
- ・内 容：地区社協の活動発表：湯津上地区社協、佐久山地区社協
グループでの話し合い

③ 食事サービス事業への支援

各地区社会福祉協議会等が実施している、ひとり暮らし高齢者等を対象とした、「食事サービス事業」に対して、1食あたり400円の助成を行った。配布時には見守り活動も兼ねている。

地区社協名	26年度食事数	実施回数	対象者数	前年度食事数
大田原東部地区社協	901食	12回	75人	876食
大田原西部地区社協	1,917食	48回	65人	2,006食
紫塚地区社協	1,995食	37回	57人	1,906食
金田地区社協	821食	24回	42人	907食
親園地区社協	249食	24回	10人	269食
野崎地区社協	877食	90回	25人	1,059食
佐久山地区社協	467食	20回	21人	454食
湯津上地区社協	730食	12回	78人	773食
黒羽地区社協	728食	10回	76人	654食
川西地区社協	495食	6回	85人	476食
両郷地区社協	270食	10回	40人	225食
須賀川地区社協	244食	6回	61人	243食
市ボランティア連絡協議会 (黒羽支部)	560食	4回	290人	559食
合 計	10,254食	303回	925人	10,407食

(助成総額 4,101,600円 内共同募金から 3,980,666円)

④ 心配ごと相談事業の実施

市からの受託事業として「心配ごと相談事業」を行った。市民の日常生活上の心配ごとの相談に応じるため、民生委員・児童委員に相談員を委嘱し、福祉センター及び社協各支所内に相談所を開設した。また、随時電話や窓口において生活相談などを受け付けた。

○心配ごと相談開催日

地区	相談日	時間	場所	回数
大田原	毎週金曜日	9:00～正午	市福祉センター	48回
湯津上	毎月第1水曜日	13:00～16:00	佐良土多目的交流センター	12回
黒羽	毎月第1・3木曜日	9:00～正午	社協黒羽支所	26回

○心配ごと相談種別ごとの年間利用状況（総件数30件）

種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数
生計	3	職業・生業	0	家族	10	健康・衛生	0	医療	0	人権	3
年金	1	住宅	2	結婚	0	離婚	2	事故	0	財産	3
精神衛生	1	児童福祉	0	教育・青少年	0	心身障害	0	老人福祉	2	母子福祉	
その他	2	苦情	1								

○その他の相談件数 110件 社協窓口での相談件数（ボランティア、貸付見守り関係を除く）

⑤ 地域福祉活動計画の推進

平成25年度に市や地域住民とともに策定した、基本目標を『おたがいを おもいやり たのしく わらってらせるまち 大田原』とした、第二次地域福祉計画・地域福祉活動計画(平成26年度から30年度)を、市、関係機関・団体とともに協働しながら進めた。計画の進捗状況を施設・団体、市、社会福祉協議会に分けて、事業項目ごとに取り組み状況を調査した。

⑥ 市福祉センターの管理運営

市からの委託を受けて、市福祉センターの管理運営にあたり、各種講座や会合、集会等に次のとおり利用があった。

区分	総数	研修室	婦人室	調理室	相談室
市福祉センター	568件	224件	199件	57件	88件

○「おもちゃの図書館」の運営

おもちゃ遊びをとおして、障がいのある児童もない児童もふれあい、交流活動が行えるように福祉センター内に設置している「おもちゃの図書館」の運営を行った。

(3) 生きがいのある地域づくり

① 安心生活創造事業の推進

少子高齢化社会の進展による人口の減少とともに、単身世帯の増加や近隣関係

の希薄化など、社会から孤立する人が生じやすい環境となり、従来の見守りや制度からもれる人を社会から孤立させずに支援していく仕組みづくりを行う「安心生活創造事業」(安心生活見守り事業)について、大田原市からその一部を受託し、平成21年度から地区社会福祉協議会を実施エリアとして、自治会ごとの見守りや買い物支援などを基盤支援として、市、地域包括支援センター、警察や消防などの関係機関団体と連携し、次のように実施した。

○平成21年度から進捗状況

- 平成21年度 黒羽見守り助け合い隊発足
- 平成22年度 佐久山おもいやり隊発足
- 平成23年度 紫塚地区見守り隊発足
- 平成24年度 ちかその思いやり隊、西部地区あったか思いやりの会発足
- 平成25年度 須賀川見守り隊、ゆづかみ見守り隊、東部地区見守り隊発足
- 平成26年度 両郷地区見守り隊、川西地区見守り隊、金田地区見守り隊、野崎地区見守り隊発足

ア.各地区の状況

(1)黒羽見守り助け合い隊

・ 隊の概要

発足式年月日	平成22年3月16日
自治会数	13自治会
見守り利用者数	139名
隊員数	80名

・ 平成26年度事業経過

4月28日	買い物ツアー (ザ・ビッグエクストラ那須塩原店)
6月13日	隊長会議 (25活動報告、26活動計画等)
6月20日	推進会議 (25活動報告、26活動計画等)
6月22日	茶話会 (北滝・片田・亀久・矢倉自治会)
10月6日	隊員研修会 (台風接近に伴い延期)
10月18日	茶話会 (堀之内・北区・南区東・南区西自治会)
11月9日	くろばね秋まつり参加 (募金活動)
11月14日	買い物ツアー (ザ・ビッグエクストラ那須塩原店)
2月17日	隊長会議 (活動報告、活動計画)
2月24日	推進会議兼隊員研修会 (国際医療福祉大学 林准教授講話)
3月12日	茶話会 (黒羽田町・前田・八塩自治会)
	「黒羽見守り助け合い隊だより」の発行 (12回)

(2)佐久山おもいやり隊

・ 隊の概要

発足式年月日	平成23年2月8日
自治会数	17自治会
見守り利用者数	163名
隊員数	124名

・ 平成26年度事業経過

5月15日	推進会議（要綱改正、役員改選、26年度活動計画）
6月11日	民生委員児童委員との情報交換会
6月25日	隊員会議（隊員研修・茶話会・会食会の議、活動費支給）
7月5日	知事と語ろう！とちぎ元気フォーラム in 大田原(那須与一伝承館)
7月25日	隊員研修（群馬県沼田市視察研修）ちかその思いやり隊と合同実施
8月7日	茶話会（ふれあいの丘）
8月22日	会食会（佐久山地区公民館）
9月17日	隊長会議（徘徊搜索模擬訓練・買い物ツアー・文化祭の協議）
10月31日	高齢者徘徊搜索模擬訓練（ちかその思いやり隊と合同実施）
11月10日	買い物ツアー（ザ・ビッグエクストラ那須塩原店）
11月16日	佐久山産業文化祭参加（バザー）
2月26日	推進会議（26年度活動報告）
3月25日	新旧隊長会議（要綱改正・役員改選・27年度活動計画・新隊長への引継ぎ）

(3)紫塚地区見守り隊

・ 隊の概要

発足式年月日	平成23年7月24日
自治会数	7自治会
見守り利用者数	112名
隊員数	78名

・ 平成26年度事業経過

4月23日	新旧隊長会議（25年度活動報告・26年度活動計画・新旧隊長の引継ぎ）
5月28日	推進会議（25年度活動報告・26年度活動計画）
6月6日	隊長会議（会食会の協議）
6月～ 27年1月	戸別訪問
7月16日	会食会（文化会館）
9月27日	ふれあい紫広場参加（啓発活動・展示コーナー）
10月23日	隊長会議（職員研修の協議）

11月21日	隊長研修（埼玉県行田市視察研修）
2月10日	隊長会議（27年度活動計画・ロゴマーク募集）
	「紫塚見守り隊通信」発行（2回、紫塚地区全戸配布）
通年	各地区隊で実情に合った独自の活動を展開

(4)ちかその思いやり隊

・隊の概要

発足式年月日	平成24年11月30日
自治会数	9自治会
見守り利用者数	201名
隊員数	114名

・平成26年度事業経過

4月10日	推進会議（26年度活動計画）
5月22日	隊長会議（認知症サポーター養成講座の協議）
6月18日	認知症サポーター養成講座（親園地区公民館）
7月23日	隊長会議（買い物ツアーの協議）
7月25日	隊員研修（群馬県沼田市視察研修）佐久山おもいやり隊と合同実施
8月26日	買い物ツアー（ザ・ビッグエクストラ那須塩原店）
8月29日	隊長会議（会食会の協議）
9月30日	隊長会議（文化祭参加・高齢者徘徊搜索模擬訓練の協議）
10月8日	会食会（親園地区公民館）
10月31日	高齢者徘徊搜索模擬訓練（佐久山おもいやり隊と合同実施）
11月9日	親園地区文化祭（バザー、福祉相談、福祉機器展示）
2月19日	隊長会議（活動状況・27年度活動計画）
3月26日	新旧隊長会議（27年度活動計画・新隊長への引継ぎ）
	「ちかその思いやり隊通信」発行（8回）

(5)西部地区あったか思いやりの会

・会の概要

発足式年月日	平成25年2月4日
自治会数	9自治会
見守り利用者数	215名
会員数	128名

・平成26年度事業経過

4月25日	地区会長会議（26年度活動計画）
5月9日	推進会議（26年度活動計画）
6月26日	悪質商法防止講座（赤堀西自治会）
8月27日	茶話会・健康講話（浅野自治会）

10月26日	西部地区あったか広場（大田原中学校）
11月6日	茶話会・健康講話（赤堀東自治会）
2月17日	地区会長会議（27年度活動計画）
3月12日	推進会議（27年度活動計画）
	「あったか思いやりの会便り」発行（西部地区全世帯）

(6)須賀川地区見守り隊

・隊の概要

発足式年月日	平成25年10月29日
自治会数	11自治会
見守り利用者数	173名
隊員数	120名

・平成26年度事業経過

5月29日	推進会議（25活動報告、26活動計画）
8月19日	見守り困難ケース会議
9月30日	隊長会議（研修会、事業経過報告）
11月11日	やみぞあづまっぺ収穫祭参加（啓発・募金活動）
12月7日	須賀川新そばまつり（啓発・募金活動）
1月16日	隊員研修（壬生町視察研修）
3月27日	隊長会議（26活動報告、27活動計画、推進会議の協議）
	「須賀川地区見守り隊だより」発行（11回）

(7)ゆづかみ見守り隊

・隊の概要

発足式年月日	平成25年11月8日
自治会数	13自治会（地区隊数:11）
見守り利用者数	115名
隊員数	250名

・平成26年度事業経過

4月5日	湯津上（上）地区新隊員説明会
4月6日	蛭畑地区新隊員説明会
4月12日	蛭田地区新隊員説明会
4月20日	湯津上（下）地区新隊員説明会
4月27日	中の原地区新隊員説明会
5月7日	第1回チーム会議
5月16日	第1回隊長会議（活動報告、活動計画）
5月24日	品川地区新隊員説明会
6月9日	ゆづかみ見守り隊便り第1号発行
7月14日	ふれあいお楽しみ会（地区社協合同）
8月21日	第2回チーム会議
9月1日	ゆづかみ見守り隊便り第2号発行

9月10日	第2回隊長会議（研修会）
10月26日	ゆうあい広場（啓発活動）
11月25日	隊員研修（防犯、振り込め詐欺等）
1月1日	ゆづかみ見守り隊便り第3号発行
2月24日	第3回チーム会議
3月11日	第3回隊長会議・推進会議
3月24日	推進会議

(8)東部地区見守り隊

・隊の概要

発足式年月日	平成25年11月19日
自治会数	25自治会
見守り利用者数	171名
隊員数	431名

・平成26年度事業経過

4月20日	事業説明会（富士見ハイツ自治会）
5月20日	隊長会議（役員改選・26年度活動計画・活動費・戸別訪問の協議）
6月13日	隊員研修会兼推進会議（国際医療福祉大学 林准教授講話・26年度活動計画・戸別訪問の協議）
6月～ 27年2月	戸別訪問
2月27日	隊長会議（戸別訪問・活動報告）
3月29日	事業説明会（若草ニュータウン自治会）
	広報紙の発行

(9)両郷地区見守り隊

・隊の概要

発足式年月日	平成26年6月25日
自治会数	12自治会（9地区隊）
見守り利用者数	175名
隊員数	147名

・平成26年度事業経過

4月22日	隊長会議（要綱の一部改正、のぼり旗、推進会議）
5月20日	推進会議（発足式の協議）
6月25日	発足式（両郷中央小学校）
8月26日	隊長会議（地区活動費交付、見守り活動の協議）
3月10日	隊長会議（27活動計画、見守り活動の協議）
	「両郷地区見守り隊便り」の発行（2回）

(10)川西地区見守り隊

・隊の概要

発足式年月日	平成26年11月19日
自治会数	15自治会

見守り利用者数	120名
隊員数	258名

・平成26年度事業経過

4月～6月	見守りマップづくり
4月22日	事業全体説明会（川西小学校）
7月～8月	キャッチフレーズ・ロゴマーク募集（川西小学校）
7月24日	隊長会議（マップづくり報告、活動計画）
7月～10月	戸別訪問
9月24日	隊長会議（キャッチフレーズ等審査、発足式の協議）
10月6日	推進会議（台風接近のため中止）
11月19日	発足式（ピアートホール）
3月24日	推進会議（活動状況、27活動計画）

(11)金田地区思いやり隊

・隊の概要

発足式年月日	平成26年11月28日
自治会数	26自治会（32地区隊）
見守り利用者数	110名
隊員数	368名

・平成26年度事業経過

5月14日	事業全体説明会
6月～8月	見守りマップづくり
9月	対象者絞り込み
11月28日	発足式（市文化会館）
1月20日	隊長会議（戸別訪問・活動費の協議）
1月～3月	戸別訪問
3月28日	事業説明会議（東雲地区）

(12)野崎地区見守り隊

・隊の概要

発足式年月日	平成27年2月19日
自治会数	11自治会
見守り利用者数	—
隊員数	237名

・平成26年度事業経過

7月9日	事業全体説明会（野崎研修センター）
8月10日	事業説明会（上薄葉自治会）
9月～10月	見守りマップづくり
11月13日	対象者絞り込み
2月19日	発足式（市文化会館）

3月16日	隊長会議（戸別訪問の協議）
3月～	戸別訪問

イ. 安心生活創造事業関連の視察受け入れ一覧

年月日	依頼者	参加人数	内容	会場
5月8日	前橋市粕川地区民生委員連絡協議会	17人	安心生活創造事業による見守り活動の実践について、佐久山・親園・紫塚地区の活動状況について	福祉センター
6月2日	宇都宮市豊郷地区民生委員連絡協議会代表	6人	6月27日実施の視察研修に関する打合せ・内容の確認	福祉センター
6月27日	宇都宮市豊郷地区民生委員連絡協議会	32人	安心生活創造事業による見守り活動について、佐久山おもいやり隊の活動における民生委員との係わりについて	福祉センター
7月1日	那須塩原市社会福祉協議会職員	20人	安心生活創造事業による見守り活動の地域支え合いマップづくりについて	那須塩原市健康長寿センター
7月27日	県ソーシャルワーカー協会他5団体協賛	200人	安心生活創造事業による見守り活動に関する効果と実施プロセスについて	とちぎ福祉プラザ
8月6日	那須町地区社会福祉協議会役員	20人	安心生活創造事業による見守り活動について	福祉センター
9月30日	日光市今市地区社会福祉協議会役員	25人	安心生活創造事業による見守り活動の実施経過と効果について	福祉センター
11月5日	那須塩原市西地区車座談議	30人	安心生活創造事業による見守り活動について	福祉センター
11月6日	日光市落合地区社会福祉協議会	25人	安心生活創造事業による見守り活動について	福祉センター
12月9日	鹿沼市	20人	安心生活創造事業による全市見守り活動の概要と黒羽見守り助け合い隊の活動について	福祉センター
1月28日	小山市内地区社会福祉協議会交流会	50人	安心生活創造事業による見守り活動と地区社協活動について	小山市立文化センター中央公民館
2月21日	栃木地域福祉実践研究セミナー実行委員会	300人	黒羽見守り助け合い隊の活動について	とちぎ福祉プラザ
2月24日	足利市柳原地区社会福祉協議会	43人	安心生活創造事業による見守り活動と地区社協活動について	福祉センター
合 計		788人		

ウ. 安心生活創造事業会議等

NO	月 日	内 容	会 場
1	2月23日	安心生活創造事業推進委員会	東地区公民館
2	2月27日	安心生活創造事業関係機関連絡会議	南別館

○救急医療情報キットの普及支援

大田原市が平成24年10月から配布した「救急医療情報キット」に関し、市社協では、各地区の見守り隊員（会員）と協力して、見守り対象者に対し救急医療情報キットの説明、申請代行、配布を行った。

平成26年度配布本数429本（本所：219本、湯津上支所：2本、黒羽支所：208本）

② 災害にも強い地域づくり事業の推進

ア. 災害ボランティアセンター運営連絡会の開催

災害時のボランティア活動支援を迅速かつ円滑に開設・運営できるよう、また日常の関係団体・機関等の連携を進めるため設置している災害ボランティアセンター運営連絡会を開催した。

「大田原市災害ボランティアセンター」は「大田原市地域防災計画」に基づき、大規模災害発生時などに、災害ボランティアの活動拠点として市社協に設置されるもので、被災地の復旧・復興支援のためのボランティア受入と活動の支援を行うものである。

○構成団体：市民生委員児童委員協議会連合会・市ボランティア連絡協議会・那須野ヶ原青年会議所・IUHWボランティアセンター（国際医療福祉大学）・大田原市（保健福祉部福祉課・総合政策部危機管理課）・市社会福祉協議会

○連絡会の開催（委員14名・オブザーバー 2名）

開催日	内 容	出席者数
3月17日	各団体の活動についての情報交換他	12名 オブザーバー2名

③ 地域福祉啓発イベントの開催

ア. 「第26回与一の里大田原市産業文化祭」等への参加

社協事業の紹介PRに努めるとともに、赤い羽根共同募金に対する来場者への協力を要請した。また、くろばね秋まつりに参加し、社協のPR、共同募金活動を実施した。

イ. ぼくらのまちのウォークラリーの開催支援

「ともに生きるまちづくり」について考える地域福祉啓発イベントを企画・

実施する「ぼくらのまちのウォークラリー実行委員会」の支援を行った。

子どもも高齢者もハンディのある人もない人も、すべての人たちが一緒に楽しむ体験を通して、相互の理解を図り、連帯感を高め、「ともに生きるまちづくり」を進めることを目的とするものである。

- ・日 時：10月19日（日）午前9時45分～午後1時15分
- ・場 所：大田原市黒羽運動公園
- ・参加者：62名 ボランティア48名 実行委員20名

④ 生きがい講座の開催

仲間づくりや生きがいづくりをねらいとして、高齢者を対象にスポーツダンス初級(藤田定夫講師)、囲碁講座（大久保博講師）の2講座を開催した。市社協事業としての開催は、平成26年度で終了した。

講 座 名	期 間	受講者数	開催回数
スポーツダンス講座 (市勤労青少年ホーム)	4月～3月の第1・3水曜日	15名	23回
囲碁講座 (美原ほほえみセンター)	4月～3月の第2・4土曜日	34名	24回

⑤ 歳末見舞金の配布

民生委員・児童委員の協力を得て対象者を把握し、低所得世帯等に対し共同募金を原資に歳末見舞金を配布した。165帯に902,000円

歳末見舞金の配布は、平成26年度で終了した。

(4) 健康に生活するための環境づくり

① ねたきり高齢者等紙おむつ等給付事業の推進

在宅のねたきり高齢者等（要介護3以上及び重度の障害者等）を在宅で介護している方に対し、紙おむつ・尿取りパットを無償給付した。

○給付状況 年間 5,284人(総計 14,974パック)

・給付金額 17,591,835円 (前年比100.9%)				
・種類別給付数				
種 別	パンツ型	はくパンツ型	フラット型	合 計
紙おむつ	1,730パック	3,387パック	18パック	5,135パック
尿とりパット	9,839パック			9,839パック

※パンツ型はくパンツ型は、1パックに約30枚、フラット型は1パックに50枚入

② 高齢者等外出支援事業の推進

在宅のひとり暮らし高齢者等の通院等に必要な交通の便を確保し、福祉の向上を図ることを目的とした、「大田原市高齢者等外出支援事業」を市から受託し、運行業務、車両管理業務等は、山和タクシー・NPO法人サポートセンター清流に委託し事業の適切な運営に努めた。

○外出支援事業延べ利用回数 16,129回（受委託金額 23,007,700円）

③ 友愛訪問活動への支援

地域のひとり暮らしや寝たきりの高齢者等の孤立を防止し、社会参加を促進することをねらいに、いきいきクラブの協力を得て、月2回～3回の友愛訪問活動を実施し、1クラブあたり5,000円の助成を行った。（平成26年度は、25クラブに助成。）

④ 日常生活用具貸与事業の推進

在宅の寝たきり高齢者及び重度の障がい者等に対して、日常生活用具を貸与することにより、福祉の増進を図ることを目的に、ギャッジベッド、車椅子など2品目について無償貸与した。

○品目別貸与状況

地区	貸出件数		保有台数	
	ベッド	車いす	ベッド	車いす
本所	50件	106件	21台	41台
湯津上支所	0件	14件	0台	4台
黒羽支所	25件	20件	4台	12台
計	75件	140件	25台	57台

⑤ 低所得者対策等の推進

ア. 生活福祉資金

県社会福祉協議会からの受託事務として、生活福祉資金の貸付・償還事務を行った。貸付種類は「総合支援資金」「福祉資金」「教育支援資金」「不動産担保型生活資金」等4種類である。低所得者世帯、失業者、障害者世帯及び高齢者世帯で、一定の所得基準の範囲内世帯を対象として実施した。

○貸付・償還状況（平成26年度）

貸付	新規貸付 2件	緊急小口資金1件、総合支援資金1件
	貸付中 1件	総合支援資金1件
償還	償還中 52件	福祉資金9件、福祉資金（緊急小口資金）11件、教育支援資金16件、離職者支援資金3件、総合支援資金11件、臨時特例つなぎ資金2件

	償還完了 2件	緊急小口資金1件、修学資金1件
相談	73件	貸付に関する相談

イ. 福祉金庫の貸付け

福祉金庫設置要領に基づき、低所得層に対する生活、医療等の費用の少額資金一時融資を行っている。善意銀行の拠出金を原資として、1借受人2万円を限度に10ヶ月無利子月賦償還する制度として実施している。

○貸付・償還状況（平成26年度）

	前年度末残高 A	1,705,658円	・前年度償還未済額 839,000円
26 年 度	貸付金額 B	615,000円	・新規貸出件数32件
	償還金額 C	732,030円	・償還完了件数37件
	不納欠損額 D	40,000円	・不納欠損件数2件
	預金利子 E	354円	・普通預金利子
	地域福祉事業へ振替 F	1,872円	・過年度普通預金利子
	残高 G	1,821,170円	年度繰越 (A-B+C+E-F)
	相談	80件	貸付に関する相談

※年度末貸付償還未済額は、646,970円

⑥ 日常生活自立支援事業（あすてらす）の推進

高齢者、障がい者等で収支の判断が不十分な方の金銭管理や書類預かり等を行う、日常生活自立支援事業（あすてらす おおたわら）を下記のとおり実施した。制度の推進を図るため、社協だよりへ掲載し制度のPRに努めた。

○あすてらす利用状況

平成26年度状況	生活支援利用者数	備考
年度当初	49名	
新規契約	15名	
解約（死亡・解約）	△11名	死亡8人、申出解約3人
平成26年度末現在	53名	

・専門員 2人 ・生活支援員 18人（社協職員6人含む）
（内訳：大田原12人、湯津上2人、黒羽6人）

・主な支援内容

日常的な金銭管理サービス（預貯金の出し入れ、福祉サービス利用料等の支払）、書類等預かりサービス（預金通帳や証書等の預かり）

・相談

⑦ 居宅介護支援事業・訪問介護事業の推進

ア. 介護保険法による在宅サービス事業所としての事業

○居宅介護支援事業

	26年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	12,694,480円	14,303,569円	88.8%
年間延べ利用者数	1,047人	1,197人	87.5%
月平均利用者数	87人	100人	87.0%
介護支援専門員数	4人	5.8人	69.0%

○訪問介護事業

	26年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	29,567,981円	28,998,634円	102.0%
年間延べ利用者数	923人	866人	106.6%
月平均利用者数	77人	72人	106.9%
ホームヘルパー数	25人	23人	108.7%

イ. 介護予防支援事業の業務受託

要支援1・2の判定を受けた方のケアプラン作成を指定介護予防支援事業所（地域包括支援センター）から受託し、介護予防支援事業を実施した。

○受託の状況

	利 用 回 数			受託金額
	初回	2ヵ月以降	合計	
市中央地域包括支援センター	3	52	55	1,757,344円
市西部地域包括支援センター	1	0	1	
市東部地域包括支援センター	7	326	333	
合 計	11	378	389	

(25年度受託金額：1,487,871円 前年比118.1%)

⑧ 計画相談支援事業・障害福祉サービスの推進

障害者総合支援法と児童福祉法に基づく在宅サービス事業

○計画相談支援事業

	26年度実績
年間報酬額	1,483,148円
年間延べ利用者数	112人

月平均利用者数	9.3人
相談支援専門員数	1.5人

(26年度より実施)

○障害福祉サービス

	26年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	9,659,381円	8,204,628円	117.7%
年間延べ利用者数	317人	309人	102.6%
月平均利用者数	26人	26人	100.0%

⑨ 受託訪問介護事業の推進

介護保険の対象とならない自立認定者等に対しホームヘルパーを派遣する「生活支援ホームヘルプサービス事業」を市から受託し、訪問介護事業を実施した。なお、自立認定者が介護保険対象者となり、徐々に減少する傾向にある。

	26年度実績	前年度実績	前年比
年間受託額	211,000円	207,000円	101.9%
年間延べ利用者数	24人	24人	100.0%
月平均利用者数	2人	2人	100.0%

⑩ 福祉サービス苦情解決に関する第三者委員会の設置

各事業所ごとに苦情解決責任者を設け苦情解決を図った。また6名の委員による第三者委員会を設置している。

(5) 財産基盤の確立

① 共同募金事業への協力推進

社会福祉法人栃木県共同募金会大田原市支会として、10月1日から12月28日までの期間、募金活動を行った。平成26年8月25日に市支会委員会を開催し、募金運動に対する取り組み方針、募金配分先を協議した。

○平成26年度共同募金実績一覧

(単位：円)

種別	募金目標額	募金実績額	達成率 (%)	前年度実績額
戸別募金	5,834,000	5,823,566	99.8	5,808,000
特別募金	3,350,000	3,362,035	100.4	3,420,000

街頭募金	203,000	216,342	106.6	271,000
学校募金	294,000	309,876	105.4	195,000
職域募金	429,000	462,976	107.9	378,000
イベント募金等	125,000	173,358	138.7	81,000
合 計	10,235,000	10,348,153	101.1	10,153,000

○共同募金配分金事業

平成25年度の募金実績に応じて、県共同募金会から6,632,339円が大田原市支会に配分された。配分先は以下の通り。

- ・食事サービス助成の一部 3,980,666円 (全4,101,600円助成の一部)
- ・友愛訪問活動支援 125,000円 (25いきいきクラブ)
- ・福祉小冊子「ともに生きる」印刷費 798,660円
- ・各種団体活動助成 826,013円
- ・歳末見舞金配布 902,000円 (165世帯)

② 善意銀行の運営推進

社会福祉のために役立つようにと市民等から寄せられた金品等の善意の寄付を有効利用できるよう、適正な善意銀行の運営に努めた。

=普通預金会計=

	前年度繰越金	5,073,926円	
--	--------	------------	--

平成 26 年度 収 支 状 況	収 入 の 部	預託金額 (H26.4.1～ H27.3.31)	402,000円	預託者(敬称略) 栗原敏子、栃木県大衆音楽家協会県北支 部、やみぞあづまっぺ協議会、向山真利 子
		預金利子	1,036円	普通預金利子
		(合 計)	5,476,962円	
	支 出 の 部	配分金額	640,000円	・市ボランティア連絡協議会 260,000円 ・市老人クラブ連合会 80,000円 ・市身障児(者)保護者会 80,000円 ・市身体障害者福祉会 190,000円 ・市母子寡婦福祉連合会 20,000円 ・須賀川地区見守り隊 10,000円
(合 計)		640,000円		
収入支出差引残高		4,836,962円		
物品預託者 (敬省略)	<input type="checkbox"/> 日永順子 衣類 <input type="checkbox"/> 東芝グループ労働組合連合会那須地区連合会 タオル200枚 <input type="checkbox"/> 連合栃木那須地区協議会 タオル120枚 <input type="checkbox"/> 渡邊謙作 タオル100枚 <input type="checkbox"/> 東電常備労組栃木北支部女性委員 タオル100枚 <input type="checkbox"/> 川西小学校 高梨友子 車イス2台 <input type="checkbox"/> 屋代甚二郎 梅干し50パック <input type="checkbox"/> 匿名 タオル65枚 <input type="checkbox"/> 栃木県民共済生活協同組合 軽自動車1台			

③ 地域福祉基金の造成推進

大田原市における地域福祉の増進に役立てるため「地域福祉基金（ぎんなん基金）」が設けられている。寄附、利息等による基金の運用を行っている。

○ 基金運用状況

前年度末基金原資残高 ①	231,770,065円
--------------	--------------

平成26年度寄付金額 ②	89,702円	・ 寄付件数 7件 大田原市健康政策課 紫塚地区社会福祉協議会 大田原ライオンズクラブ 大田原支部 大田原市くらしの会 金田南地区コミュニティ推進協議会 ダイアナ野咲 向山真利子
定期預金利息等 ③	1,242,973円	平成23年栃木県公募債利金含
地域福祉推進事業へ繰出 ④	1,242,973円	高齢者等紙おむつ等配布事業費
平成26年度原資取崩額 ⑤	7,552,944円	
本年度末基金原資残高 ① + ② + ③ - ④ - ⑤	224,306,823円	定期預金へ積立

- その他の事項 -

(1) 表彰等受賞者氏名 (敬称略)

- ・ 8月28日 第20回「県民福祉のつどい」において表彰
 - 栃木県知事表彰
 - ・ 共同募金運動協力団体又は協力者 (共募奉仕10年)
薄井健次郎 (明宿自治会長)、室井祐之 (南金丸自治会長)
 - 栃木県社会福祉協議会会長表彰
該当なし
 - 栃木県共同募金会会長表彰
 - ・ 共同募金功労者 (共募奉仕5年)
守山格 (清水町自治会長)、松本伸孝 (新屋敷自治会長)
室井敏雄 (赤堀西自治会長)、竹村富一 (富士山下自治会長)
田中光夫 (赤堀東自治会長)
- ・ 11月21日 平成26年度「全国社会福祉大会」において表彰
 - 中央共同募金会会長表彰
 - ・ 共同募金功労者
小山田勝榮 (小滝自治会長)